

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 12 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2010～2013

課題番号：22320127

研究課題名(和文) 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究

研究課題名(英文) The collection of the diaries of Sekke and Buke-tenso in Tokugawa period and the historical studies on them

研究代表者

松澤 克行 (MATSUZAWA, Yoshiyuki)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：40282529

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,900,000円、(間接経費) 3,870,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、関ヶ原の合戦が起こった17世紀初頭からペリーが来航する19世紀中期までを対象とし、近世朝廷の重職である撰家と朝幕間の諸交渉を担った武家伝奏を勤めた公家の日記、及び関連する諸史料を調査・蒐集した。そして、それらの史料を素材として研究書・論文等を執筆・公表し、近世の朝幕藩関係・天皇・朝廷・公家社会・公家文化などについて新たな研究的知見を付け加えた。更に、調査・蒐集した撰家・武家伝奏経験者の日記の記載年月日を統合・情報化して簡易データベースを作成し、研究の基礎的環境を整備した。

研究成果の概要(英文)：In this study, we researched and collected the diaries and the related historical materials of Sekke and Buke-tenso (the former was the court nobles of the highest rank, the latter was the court nobles who negotiated the various matter between the shogunate and the court, they held the most important position in the court) from the 17th century to The mid-19th century.

We wrote four books and twenty five monographs and added the some new knowledge based on that historical materials about the Emperor, the society and the culture of the court nobles, and the relationship between the shogunate and the court, and so on.

And we integrated the information of the date when it was listed in their diaries and made the simple database to improve fundamental research environment about the history of the early modern period.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：日本近世史 史料学 朝幕藩関係・公武関係 撰家 武家伝奏 朝廷 公家社会 日記・古記録

1. 研究開始当初の背景

1970年代後半に着手されるようになった後発の研究分野である近世の朝幕研究も、既に30余年の研究年齢を重ねた。当初は近世国家における天皇の位置付けという問題関心から、主に政治史的考察が進められ、朝幕間の軋轢や朝廷の統制機構、朝廷内における天皇や公家衆の動向などについて解明が進められた。しかし、90年代に入ると、朝廷の制度、経済、朝廷内小集団など幅広い領域に研究関心が向けられるようになり、新たな研究の展開が見られるようになった。また、研究代表者の松澤や研究分担者の田中・平井・松田・山口もメンバーとなっている朝幕研究会が、2007～2009年の3ケ年にわたり主催した研究集会(「近世の天皇・朝廷研究大会」)には、各回とも約100人ほどの参加者があり、この分野への関心の強さと広がりを窺い知ることができる。

こうした状況下、更に朝幕研究を深化・進展させるためには、基礎的研究環境の整備をはかることが必要ではないかと思われる。朝幕研究の中心的研究素材は公家日記であるが、近世の公家日記は活字化されているものがごく僅かである。また、活字化されていない原史料は、全国各地の大学や史料所蔵機関などに散在しており、研究代表者の松澤や研究分担者の荒木・山口が所属する東京大学史料編纂所においても、網羅的な蒐集はなされていないのが現状である。全ての日記を直ちにということは無理にしても、主要なものについては蒐集し、その史料情報を整理・研究・公開して、研究者がそれを共有・利用できるようにする必要がある。

2. 研究の目的

江戸幕府の成立する17世紀初頭からペリーが来航するまでの期間を対象とし、近世朝廷の重職である撰家と朝幕間の交渉を担った武家伝奏を勤めた公家の日記、及び関連する諸史料を調査・蒐集し、日記については、記載年月日や所蔵先など史料情報の統合化を行って近世版「記録年表」を構築し、近世朝幕関係史研究を進展させるための基礎的研究環境の整備を目指した。

また、調査・蒐集した日記・関連史料を史料学的に研究するとともに、近世の朝幕藩関係・天皇・朝廷・公家社会に関して新たな知見を付け加えることも合わせて目指した。

3. 研究の方法

本研究は、17世紀から18世紀の撰家・武家伝奏の日記及び関連史料の調査・蒐集、蒐集した日記等から採取した史料情報の研究資源化、史料学的研究及び朝幕藩関係・天皇・朝廷・公家社会に関する新知見の追加という、3つの柱を立てて進めた。については、日記や関連史料を所蔵する諸機関に出張し、史料の閲覧・調査を行うとともに、紙焼きやデジタルデータ

によって史料の蒐集・蓄積を行った。については、研究代表者が所属する東京大学史料編纂所にて研究補助者を雇用し、作業を行った。については、本研究への参加者がそれぞれ、調査・蒐集した史料に基づき研究を行い、書籍・学術雑誌を通じて成果を公にした。また、科研費の交付期間中に3回、東京で研究会を開催し、研究の進捗状況と成果を報告・討議した。

4. 研究成果

- (1) 調査・蒐集した撰家・武家伝奏日記及び関連史料を素材として、近世の朝幕藩関係、天皇、公家社会、公家文化等に関する研究を行い、書籍・学術雑誌等を通じてその成果を公表した。また、研究大会で2件の報告も行った。その具体的な内容は、次項「5. 主な発表論文等」に記した通りである。
- (2) 4年間行った研究の概要を速報し、最終年度に執筆した論文等7件を公開するため、研究報告集『東京大学史料編纂所研究報告2013-5 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究』を編集・刊行した。研究成果の公開と社会的還元をはかるため、この研究報告集は大学・研究機関・研究者等に配付した。
- (3) 関ヶ原の合戦が起こった慶長5年(1600)から、ペリーが来航する嘉永6年(1853)までの撰家・武家伝奏日記の情報化作業を行い、近世版「日記年表」のプロトタイプを作成した。研究成果の公開をはかるため、情報化したデータは「近世の撰家・武家伝奏経験者の日記記事日付一覧」と題してCD-ROMに焼き付け、前記の研究報告集に付録として添付した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 25件)

松澤 克行「天皇・朝廷と家康」(横田冬彦編『徳川家康の国家構想』週刊朝日百科 新発見! 週刊日本の歴史 28 江戸時代1、朝日新聞出版、2014年)pp.20-22、査読なし

松澤 克行「近世の撰家・武家伝奏日記の情報化と統合」(松澤克行編『東京大学史料編纂所研究報告2013-5 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究』東京大学史料編纂所、2014年)pp.5-12、査読なし

松澤 克行「『資勝卿記』諸本に関する覚書」(松澤克行編『東京大学史料編纂所研究報告2013-5 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究』東京大学史料編纂所、2014年)pp.13-25、査読なし

松澤 克行「撰家年頭使の関東下向記 朝山義延「関東御使仮日記」の紹介」

(松澤克行編『東京大学史料編纂所研究報告 2013-5 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究』東京大学史料編纂所、2014年)pp.61-81、査読なし

荒木 裕行「京都町奉行所による朝廷風聞調査について」(松澤克行編『東京大学史料編纂所研究報告 2013-5 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究』東京大学史料編纂所、2014年)pp.83-101、査読なし

田中 暁龍「宝暦事件後の公家の動向 中院家の相続問題と佐賀藩鍋島家の助力」(松澤克行編『東京大学史料編纂所研究報告 2013-5 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究』東京大学史料編纂所、2014年)pp.43-59、査読なし

平井 誠二「高家史料から見た武家伝奏」(松澤克行編『東京大学史料編纂所研究報告 2013-5 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究』東京大学史料編纂所、2014年)pp.27-41、査読なし

松田 敬之「幕末・維新时期における撰家一条家家臣団の動向と朝臣意識」(松澤克行編『東京大学史料編纂所研究報告 2013-5 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究』東京大学史料編纂所、2014年)pp.103-135、査読なし

松澤 克行「茶道宗徧流不審庵所蔵「冬基卿記」」(『東京大学史料編纂所研究紀要』第23号、2013年)pp.246-262、査読なし

松澤 克行「堂上公家」公家の家臣」(深谷克己他監修『近世人の事典』東京堂出版、2013年)pp.37-40、pp.45-46、査読なし

荒木 裕行「江戸幕府所司代赴任時の老中上京について」(『史学雑誌』第122編第9号、2013年)pp.62-83、査読あり

荒木 裕行「近世後期の鳥取藩御内用頼」(『論集きんせい』第35号、2013年)pp.20-30、査読あり

田中 暁龍「武家伝奏・議奏」所司代・京都代官・禁裏付武家」仙洞付武家」(深谷克己他監修『近世人の事典』東京堂出版、2013年)pp.53-54、pp.228-229、pp.234、査読なし

田中 暁龍「中近世の禁裏小番と武家昵近衆」(朝幕研究会編『近世の天皇・朝廷研究』第5号、2013年)pp.21-41、査読なし

田中 暁龍「江戸期 どんな時代だったのか」第68~70話、第78~82話(『史料が語るエピソード 日本史100話』小径社、2013年)pp.200-211、pp.228-241、査読なし

平井 誠二「武家伝奏と高家」(朝幕研

究会編『近世の天皇・朝廷研究』第5号、2013年)pp.3-20、査読なし

平井 誠二「もう一つの「吉良日記」とその類書 吉良家史料群の伝播」(『吉良家日記』吉良町史別冊資料、西尾市、2013年)pp.780-792、査読なし

平井 誠二「『吉良家日記』解題」(『吉良家日記』吉良町史別冊資料、西尾市、2013年)pp.737-779、査読なし

田中 暁龍「近世公家の家内騒動と家臣統制 清華・今出川家を中心に」(『東京家政大学人間文化研究所紀要』第六集、2012年)pp.26-37、査読あり

松田 敬之「新華族先代・先々代叙位に関する一考察」(鶴崎裕雄編『地域文化の歴史を往く』、和泉書院、2012年)pp.409-428、査読なし

②① 山口 和夫「將軍権力と大名の元服・改名・官位叙任 上杉定勝・蜂須賀忠英・池田光政について」(山口和夫編『將軍父子上洛と將軍宣下の政治社会史的研究』東京大学史料編纂所研究成果報告 2010-2、東京大学史料編纂所、2011年)pp.13-23、査読なし

②② 松澤 克行「公武の交流と上昇願望」(深谷克己・堀新編『権威と上昇願望』江戸の人と身分3、吉川弘文館、2010年)pp.125-156、査読なし

②③ 松澤 克行「寛永文化期における九条家文庫点描 九条道房の蔵書整理と貸借」(『文学』11-3、2010年)pp.119-129、査読なし

②④ 荒木 裕行「近世中期の幕藩関係 金沢藩の御用頼」(藤田覚編『十八世紀日本の政治と外交』山川出版社、2010年)pp.5-23、査読なし

②⑤ 山口 和夫「近世の公家身分 近世公家衆の人・家・身分」(深谷克己・堀新編『権威と上昇願望』江戸の人と身分3、吉川弘文館、2010年)pp.93-124、査読なし

〔学会発表〕(計 2件)

田中 暁龍「中近世の禁裏小番と武家昵近衆」(近世の天皇・朝廷研究第5回大会、2012年9月15日、於学習院大学)
平井 誠二「武家伝奏と高家」(近世の天皇・朝廷研究第5回大会、2012年9月15日、於学習院大学)

〔図書〕(計 4件)

松澤 克行編『東京大学史料編纂所研究報告 2013-5 近世の撰家・武家伝奏日記の蒐集・統合化と史料学的研究』(東京大学史料編纂所、2014年)全135ページ
平井 誠二監修『吉良家日記』(吉良町史別冊資料、西尾市、2013年)884ページ

田中 暁龍『近世朝廷の法制と秩序』(山川出版社、2012年)全215ページ

渡部 泰明・阿部 泰郎・鈴木 健一・
松澤 克行『天皇と芸能』(天皇の歴史
10、講談社、2011年)全414ページ

6. 研究組織

(1) 研究代表者

松澤 克行 (MATSUZAWA, Yoshiyuki)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号：40282529

(2) 研究分担者

荒木 裕行 (ARAKI, Hiroyuki)
東京大学・史料編纂所・助教
研究者番号：70431799

田中 暁龍 (TANAKA, Toshitatsu)
桜美林大学・人文学系・准教授
研究者番号：30511852

平井 誠二 (HIRAI, Seiji)
公益財団法人大倉山精神文化研究所・研究
員
研究者番号：40218756

松田 敬之 (MATSUDA, Takayuki)
花園大学・文学部・専任講師
研究者番号：70507136

山口 和夫 (YAMAGUCHI, Kazuo)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号：00239881

(3) 連携研究者

なし